

集団かぜ発生状況(平成29年1月27日) (NO. 20)

県内の集団かぜの発生状況は、次のとおりです。

1 平成29年1月27日(金)措置分 (初発7施設)
初発施設における措置を取ったクラス等の状況

- (1) 患者数 135 名
- (2) 施設別発生状況 裏面のとおり

2 既発施設における本日の措置状況 裏面のとおり

3 現在までの状況

措置を取ったクラス等の状況

- (1) 在籍者数 3,926 名
- 患者数 1,606 名

注: 在籍者数及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

(2) 発生施設数

措置状況	休校	3 施設
	学年閉鎖	24 施設
	学級閉鎖	50 施設
	計	77 施設

注: 同一施設で措置を変更した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の措置の規模の大きい方に変更してあります。

(参考1)

集団かぜの発生状況は、インフルエンザ様疾患(※)による欠席等により、学級閉鎖等の措置をとった場合の報告です。

※ インフルエンザ様疾患: 38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁若しくは鼻閉、咽頭痛、咳のいずれか1つ以上)を呈した場合をいう。

(参考2)

インフルエンザの予防のために

① 流行前のワクチン接種

② 咳エチケット

○咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。

○呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。

○咳をしている人にマスクの着用を促す。

○マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。

③ 外出後の手洗い

④ 室内の適度な湿度の保持(50~60%)

⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

石川県ホームページの「インフルエンザ情報」に、予防情報等を掲載しています。

施設別発生状況

初発施設における本日の措置状況

(平成29年1月27日措置分)

	施設名	所在地	措置を取ったクラスの状況				備考
			学年・クラス名	在籍者数(人)	患者数(人)	措置(期間)	
1	金沢市立 ^{トイタ} 戸板小学校	金沢市戸板	3年3組	29	15	学級閉鎖(1/27)	3年生は全5クラス
2	金沢市立 ^{ナガタマチ} 長田町小学校	金沢市長田	2年1組	28	23	学級閉鎖(1/27)	2年生は全2クラス
3	金沢市立 ^{フシミダイ} 伏見台小学校	金沢市窪	2年2組	27	13	学級閉鎖(1/27)	2年生は全4クラス
4	^{セイリョウ} 星稜中学校	金沢市小坂町	2年	71	24	学年閉鎖(1/27)	2年生は全2クラス
5	金沢市立 ^{セイナンブ} 西南部小学校	金沢市八日市出町	3年1組	28	11	学級閉鎖(1/27)	3年生は全4クラス
6	加賀市立 ^{ヤマシロ} 山代中学校	加賀市上野町	1年	155	35	学年閉鎖(1/27)	1年生は全5クラス ※特別支援学級に在籍する1年生も措置対象
7	かほく市立 ^{カホクダイ} 河北台中学校	かほく市遠塚	2年1, 2組	62	14	学級閉鎖(1/27)	2年生は全4クラス
				400	135		

既発施設における本日の措置状況

区分	施設名
休校 (2施設)	珠洲市立上戸小学校、輪島市立門前中学校
学年閉鎖 (3施設)	金沢市立森本小学校(5年、6年2組)、小松市立東陵小学校(1年)、加賀市立南郷小学校(3, 4年)
学級閉鎖 (10施設)	野々市市立富陽小学校(2年4組、3年1組、4年5組、5年1, 4組、6年3組、ほほえみ)、金沢市立大徳小学校(1年1組、3年4組)、金沢市立南小立野小学校(3年2組)、北陸学院高等学校(1年1組)、小松市立苗代小学校(6年2組)、かほく市立七塚小学校(1年1組)、金沢市立犀川小学校(2年2組)、小松市立第一小学校(2年4組)、小松大谷高等学校(1年特進Aクラス、1年体育科、2年進学Aクラス、2年体育科)、金沢市立額小学校(6年1組)